

ES・適性検査対策のポイント

- * 「学生時代に力を入れたこと」「自己PR」
- * 志望する会社のOB・OGを訪問する。・・ESの「志望動機」のヒントを得る。
- * 市販の適性検査の例題集を解き、問題の傾向や制限時間に慣れておく。
- * 適性検査の数学系の問題は、中学校レベルのものが多い。
- * 大学のキャリアセンターに相談したり、ESや適性検査の対策講座を受験する。

産 業 専 門 2015.2.3

(第3種郵便物認可)



毎週火曜掲載

エントリーシートと適性検査

大学3年生の就職活動解禁(3月1日)まで1か月を切りました。就活の初期段階では、エントリーシート(ES)の提出と適性検査の受験が、本格選考に臨むための重要なステップとなります。どんな対策を進めればよいのか、ポイントをまとめました。

(泉田友紀)



ES・適性検査対策のポイント

(専門家の意見を基に作成)

- 「学生時代に力を入れたこと」「自己PR」など、ESでよく聞かれる質問の答えを、友人や家族に話し、意見を聞く。他人の指摘から、自分の特性が見えてくることもある
- 志望する会社のOB・OGを訪問する。社員から生の情報を聞くことで、ESの「志望動機」のヒントになる
- 市販されている適性検査の例題集を解き、問題の傾向や制限時間に慣れておく
- 適性検査の数学系の問題は、中学校レベルのものが多い。苦手な人は中学生向けの問題集などで練習しておく
- 大学のキャリアセンターに相談したり、ESや適性検査の対策講座を受講したりする。キャリアセンターでは、志望企業の過去の傾向を把握している場合もある



適当に書かず細心の注意

■ 強調する点決める

ESは、志望動機や自己PRなどを書き込む応募書類で

いって油断は禁物。ESで応募者の半数以上を門前払いする企業もあり、適当に書いて出すと足をすくわれます」と

注意を促します。「ESは言ってみれば『ゼロ次面接』。目の前に面接官がいるつもりで、真摯に取り組

す。企業は、採用活動を開始すると、自社や就職情報会社のサイトなどを通じて応募を受け付けます。学生が名前や連絡先を登録すると、ESを提出するよう求められます。就職コンサルタントの坂本章紀さんは、「書類だからと

組んでほしい」と坂本さん。ほぼ確実に聞かれるのが、「学生時代に力を入れたこと」です。学業、サークル活動、アルバイトなどの経験の中で一番自信があるのは何かを詳しくさせ、ESの中で強調する点を決めておくといっています。

提出の締め切りは応募受け付けから1〜2か月後が見込まれます。最近では手書きのESは少なくなり、パソコン画面上で、指定の書式に記入して送るスタイルが一般的です。複数の企業のESに、同じ答えを複写して貼り付ける

適性検査などの対策講座を開く大学もある(昨年12月、専修大で)

「コピー・アンド・ペースト」機能を使う学生もいますが、間違いないか、よくチェックする必要があります。応募する企業の数が多くなると、どの会社にESを提出したのか、わからなくなる可能性があります。手帳などに記録して管理しましょう。

■ 例題集や対策講座

一方、適性検査は、国語や数学、英語などの能力を試したり、本人の行動や考え方や性格を調べたりして、仕事上の適性を診断するテストです。ESの提出後、連絡を受けた学生が、面接の前に受けるのが一般的です。

専門の業者が作成した問題を学生に解かせることが多く、志望する企業によって、問題のタイプが異なることがあります。過去にどの業者のテストが使われたのか、わかる範囲で調べ、例題集を解いたり、大学のキャリアセンターの対策講座などを受講するといいいでしょう。

大学などで対策講座の講師を務める山口卓さんは、「3月になると、会社説明会への参加や、ESの作成などで忙しくなる。適性検査の対策は、早めに進めておいてほしい」と呼びかけます。

専修大学で適性検査の対策講座を受講した経済学部3年の女子学生(20)は、「高校時代は数学が得意だったけれど、忘れかけている部分もあった。本番までに慣れておきたい」と話していました。

